

面接調査書

受験番号

※

※印欄は記入しないこと

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ 氏 名		志望する 専攻・ プログラム	専 攻 プログラム
生年月日 年 齢	年 月 日生 2026.4.1 現在（満 歳）	出身大学 卒業年月	国立 公立 大学 学部 卒業見込 年 月
修士課程を構成する 専攻・プログラム		入学後に予定している主たる研究領域 ※志願する専攻・プログラムの研究領域のうち必ず1つのみにチェックを入れること。 ※『東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）案内』「専攻・プログラムの教育研究 の概要」又は本学修士課程ウェブサイト「教育組織・教員紹介」（学生募集要項4頁 にURL記載）を参照のこと。	
教育支援 協働実践 開発専攻	教育A I 研究 プログラム	<input type="checkbox"/> 情報A I <input type="checkbox"/> コンピテンシー・学校心理 <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（文化） <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（身体） <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（環境）	
	教育協働研究 プログラム	<input type="checkbox"/> 生涯学習 <input type="checkbox"/> 文化遺産教育 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーク <input type="checkbox"/> 生涯スポーツ <input type="checkbox"/> 多文化共生教育 <input type="checkbox"/> 表現教育 <input type="checkbox"/> アート <input type="checkbox"/> デザイン <input type="checkbox"/> 教育行政	
希望する指導教員（希望がある場合は記入すること）			
(主)		(副)	
入学志願 理 由			

【記入上の注意】

1. 全て自署により記入することを原則とする。

2. 「希望する指導教員」欄について

- ・指導教員の希望は、主・副とも、希望がある場合に記入してください。なおこの記入にあたって、当該教員の事前の了解は必要ありません。
- ・入学後の指導教員は、ここに記載された希望どおりとならないことがあります。また、この指導教員の希望や入学後の研究領域の記載は、可否には影響しません。

主指導教員とは：志望する専攻（選択するプログラム）の担当教員1名が主指導教員として、入学後の指導を担当します。

副指導教員とは：主指導教員が必要と認めた場合、入学後に所属する専攻（選択するプログラム）にかかわらず、他専攻（教職大学院を含む）担当教員1名に指導を依頼することができます。また、自専攻・プログラムの担当教員で、主指導教員になれない教員からの指導を希望する場合、副指導教員として指導を受けることになります。

<p>大学在学中 及びその後 に行った研究</p> <p>※文書による 説明では不 足する研究 成果等があ る場合は、 ポートフォ リオにまと めて提出す ることも 可。ポート フォリオを 提出する場 合は、その 旨を明記す ること。</p>	
<p>入学後研究 したい事項</p>	<p>研究テーマ</p>
	<p>研究内容</p>